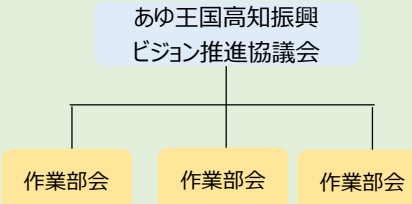


あゆ王国高知振興ビジョン

- 本ビジョンは、**本県のあゆの価値を県民の皆さまに再認識していただき、あゆを活用した観光や地域振興等の将来像を共有するとともに、有効かつ持続的にあゆを活用するための共通の指針としてR3年度末に策定**（第1期はR4～R5年度）
- 地域住民、事業者、行政が協働して展開するべき振興策について、総合的かつ体系的に整理したもので、「高知のあゆに触れられる機会づくり」、「高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり」等、**4つの柱で構成**。柱ごとに具体的に取り組んでいく内容を記載
- 具体的な取り組みについては、**重要度や熟度が高いものから実施主体や支援機関等を整理して取り組みを推進**

取り組みの進捗確認

- ビジョンに掲げる取り組みを着実に進めるため、有識者等で構成する「あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会」を設置し、**取り組みの進捗確認や助言を実施**
- 協議会は必要に応じて作業部会を設置



R4年度の主な取り組み

- 県関係課、市町村、漁協から提案があった取り組みを整理
- 引き続き、実施主体の掘り起こしを行うとともに、現在調整中の取り組みについては作業部会等で検討

ビジョンの柱 1 高知のあゆに触れられる機会づくり

観光



- ・体験メニューの商品造成に向けた支援（四万十町、四万十市、県）
- ・あゆ漁インストラクターの育成（要調整）
- ・あゆ漁体験等を含む旅行商品や体験プログラムの情報発信（県）
- ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客（県）

食



- ・県外観光客への日曜市でのあゆの販売（四万十市）
- ・キャンプ場やアクティビティ施設でのあゆの提供（漁協、四万十町、四万十市）
- ・「高知家の魚応援の店」への外商活動（県）
- ・高知あゆフェアの開催（県）
- ・食育授業や学校給食でのあゆの提供（四万十町、県）
- ・宿泊施設や飲食店でのあゆメニューの開発・提供（漁協、馬路村、四万十町、県）

釣り



- ・子供向け体験教室等の実施（漁協、四万十町、四万十市）
- ・友釣り甲子園等の開催（四万十町）
- ・川漁体験の実施（四万十町）
- ・電子地域ポイントシステムを活用した各種体験、交流の促進（高知市）
- ・漁協による電子遊漁券の導入を支援（四万十町）

情報発信



- ・「まるごと高知」を活用したメディア向けあゆ試食会の開催（地産外商公社、県）
- ・あゆが食べられる飲食店情報の発信（県）
- ・インフルエンサーを活用した情報発信（県）
- ・SNS等を活用したあゆ関連情報の発信（馬路村、高知市、四万十町、県）

ビジョンの柱 2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり

加工・流通販売



- ・集出荷体制の構築（要調整）
- ・「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催（地産外商公社、県）
- ・複数河川のあゆ食べ比べセットの商品化・販売（要調整）
- ・県や地産外商公社主催の商談会への出展によるあゆの販路開拓・拡大（四万十町、県）
- ・県・市町村ふるさと納税でのあゆの提供（漁協、馬路村、仁淀川町、四万十市、四万十町、県）



ビジョンの柱 3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり

体験・教育



- ・学校と連携した環境学習の実施（高知市、四万十町、四万十市、県）
- ・親子向けの体験教室や体験ツアーの開催（高知市、四万十市）
- ・漁協や学校と連携した講座の開催による人材育成や河川資源に親しむ機会の創出（四万十市、県）
- ・あゆオーナー制度の実施（四万十町）
- ・あゆ種苗放流体験の実施（馬路村、三原村）



ビジョンの柱 4 高知のあゆ持続的に活用するための仕組みづくり

資源回復・保全



- ・資源回復のための基礎調査の実施（高知市、四万十町）
- ・河川環境の改善に向けた関係者の協議（高知市、四万十町、四万十市）
- ・CATV等での資源保全活動等の広報（四万十町）
- ・健全なあゆ人工種苗生産及び放流量の増加に向けた調整（県）



これらの取り組みが進むことで

具体的な取り組みを着実に進めることで、あゆの価値を県内外に広め、県経済や中山間地域の活性化につなげる